

杉並区立天沼中学校

—地域の中の学校をめざして—

教育目標

- 自主
- 自律
- 共生

地域の中の学校

- 運動会、学芸発表会、月1回の授業公開を、保護者だけでなく地域の方にも公開している
- 地域教育連絡協議会の子ども地域活動促進事業では、近隣保育園の保育体験や防災意識啓発に取り組んでいる
- 地域の子どもまつりの運営にはボランティアとして参加している

個が生きる自由な校風

- 一人一人を大切にする授業
- 「天沼プログラム2002」（総合的な学習の時間）
- 感動あふれる行事…合唱コンクール・運動会など
- 熱中できる部活動
- 自主自立の生徒会

工夫をこらした時間割

	月	火	水	木	金	土
8:35	朝学活	朝会 生徒会	朝学活	朝学活	朝学活	土曜日学校
1		道徳				
2	理科			理科		
3	1 総合		音楽	1 選択	3 選択	
4	2 総合			2 選択	3 選択	
5	3 総合	2 選択	学活			
6		3 選択		3 選択	3 選択	

朝会講話と道徳授業の指導との関連をはかる

時期を設定して読書タイム

国数英 —基礎基本の定着
伝統文化—茶道・華道・書道

3グループに分けて少人数授業

学生ボランティアによる実験補助

現代的課題(5)を学年ごとに実施

調べ学習等の場合は時間を延長して3時間程度確保

「半どんの日」定期テスト時に移動した時は4校時で終了。「半どんの日」として補習、委員会活動等に活用

国・数・英各2コースで6コースを設定。少人数授業により基礎基本の定着及び発展的課題の学習を深める

特色ある教育活動 ～道徳授業地区公開講座～

毎年、全校生徒・保護者・地域の皆さん・教職員がともに、ひとつのテーマについて考え、意見を述べ合い「生き方」を学ぶ公開講座を実施している

平成13年度

テーマ：

「今を生きる子どもたち
『いじめ』から見えてくること」

弁護士 森田健二先生をお招きした。講話をしていただいた後、「いじめ」をテーマに参加者が意見や感想を出し合い、ともに学んだ。



平成14年度

テーマ：

「防災を考える
～地域の一員として～」

三宅村立坪田中学校・三島市立中郷中学校の生徒・保護者の皆さんをお招きした。被災体験の話やうかがい、防災についての考えを話し合った。地域の一員であるという自覚を持つことの必要性、日ごろからの防災対策や地域の人々との連携の大切さを考えた。

小学校・中学校、地域との連携

天沼中学校区子ども地域活動促進事業

天沼中学校・杉並第五小学校・若杉小学校・沓掛小学校、および中学校区内地域の活動



防災マップづくり

“町歩き”の後に「いざという時に役立つもの」「町の課題」などを整理し、マップを完成させる



防災訓練体験ディキャンプ

小・中学生のうちから防災意識を高めようと、中学生の企画にて実施された。消火器の使い方や資機材の使い方を学び、また新聞紙を燃料としたアルミ缶炊飯などを体験した



4年間にわたり連携して「地域防災」に関する活動に取り組んでいる。中学生がリーダーとなり、小学生や地域の人たちとともに“町歩き”をしながら「防災マップ」を作成したり、小・中学生対象の「防災訓練体験キャンプ」を行うなどの、地域性を考えた活動である。

特色Ⅰ ◎さきがけ的な取組

- (1)基礎・基本の徹底 (2)学校公開日と座談会等
- (3)授業計画・評価基準の配布 (4)土曜日学校との連携
- (5)コーディネーター制度の導入
- (6)全校道德等、保護者との協働
- (7)茶室の整備・茶道教育の実施

◎意欲的な生徒の活動

- (1)自主・自律の生徒会活動 (2)充実した部活動(16部)
- (3)高いレベルの学芸発表会 (4)多様な活動への挑戦
- (5)地域活動への参加 (6)自由闊達な気風

- 授業の工夫
- 評価の改善
- 教材教具整備
- パソコン自由利用
- 学習環境整備
- 図書館の充実
- [学]学ぶ意義等
- [総]学習法指導・多様な体験

- ◇学びへの関心
- ◇学ぼうとする意欲
- ◇学ぶ意義理解
- ◇学び方の修得
- ◇情報収集活用
- ◇資料等の活用
- ◇機器等の活用
- ◇図書館の活用

- 授業の充実
- 基礎基本の明確化と確認テキストの発行
- 選択教科の工夫・・・少人数・習熟度別
- 土曜日学校
- 個別支援・・・質問日の設定・半どんの日の活用

- ◇基礎的・基本的知識・理解
- ◇基礎的・基本的技能・能力
- ◇基本的実践力
- ◇感性
- ◇道徳的心情
- ◇学習指導要領に示された目標

- 授業の充実
- 総合的な学習の時間の充実
- 体験学習の充実
- 多様な学習機会の確保

- ◇表現・伝達力
- ◇分析・判断力
- ◇想像・創造力
- ◇知識等を活用実践する態度
- ◇道徳的実践力
- ◇意欲的な生活を営む態度

特色Ⅲ ◎保護者との連携

- (1)PTAとの連携・協働
 - ・学芸発表会等での協働 ・運動会等の行事の支援
 - ・校外パトロール等の活動 ・学年教師との懇談会
- (2)保護者との交流・協働
 - ・保護者会 ・三者面談 ・学校公開日 ・学校開放
 - ・座談会、「〇〇教室」の開催 ・給食試食会 ・人材バンク
- (3)情報の共有
 - ・PTA名簿 ・連絡網の作成 ・各種たよりの発行
 - ・PTA広報誌の制作
- (4)その他
 - ・保護者のつける通知表

- 職業調べ
 - 職場訪問 ■上級学校訪問
 - 職業体験
 - 卒業生の話をきく会
 - 経営セミナー
- 適性検査
- [学]望ましい職業観
- [道]勤労の意義

- 進路説明会
- 進路調査
- 進路相談(個別・)
- [学]進路情報の活

- ◇自己適性理解
- ◇望ましい職業観・勤労観
- ◇将来への関心
- ◇働く喜び
- ◇自分の良さの理解
- ◇目標への努力
- ◇個性を伸ばす態度

- ◇進路課題把握力
- ◇進路情報収集力
- ◇進路情報分析力
- ◇進路探索力
- ◇進路の決定力
- ◇希望先の現実性判断力

進路意識

進路選択

学ぶ力

学んだ力

学びを生かす力

学業面

進路面

健康面

生きる力

体力の向上

心身の健康

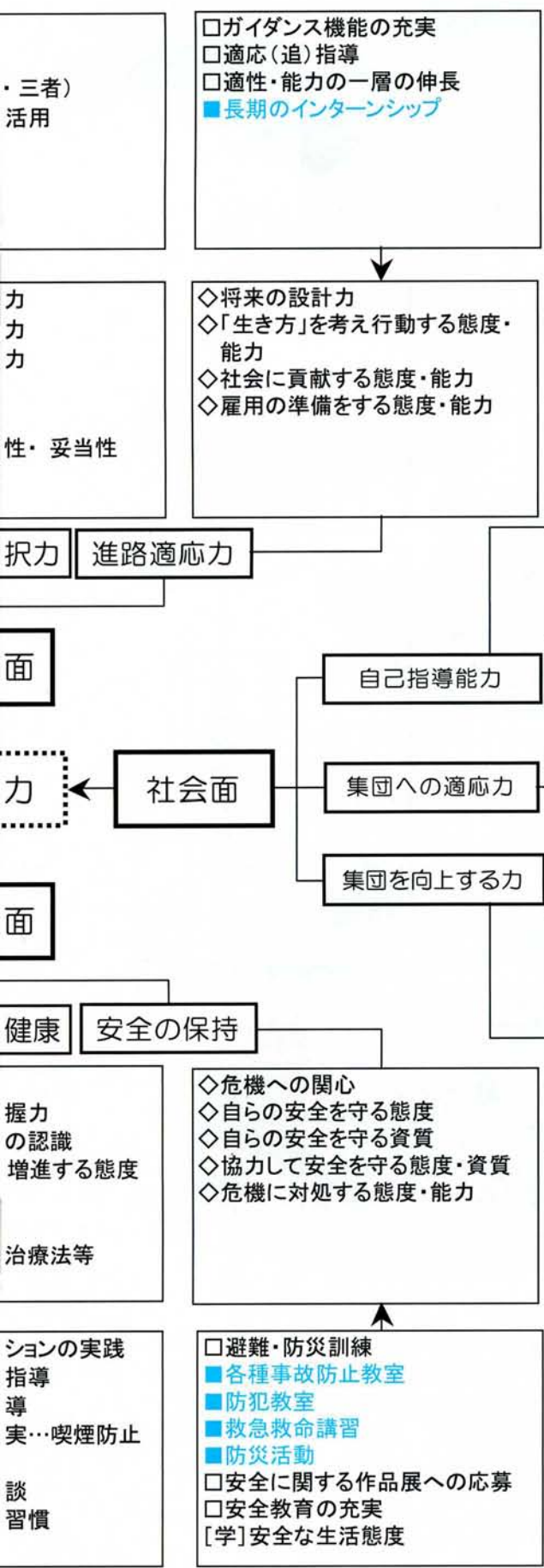
- ◇運動に親しむ態度
- ◇運動ができる資質
- ◇運動効果の理解
- ◇持久力等の運動機能の発達

- ◇健康への関心
- ◇健康状態の把握
- ◇健康の重要性の理解
- ◇健康を保持・増進する能力
- ◇心身の発達理解
- ◇疾病の予防・治療の基礎知識

- 体育的行事の充実・・・運動会・球技大会・スキー教室等
- 部活動の充実
- 各種大会への参加
- 運動施設の整備・活用
- 運動機会の提供

- ヘルスプロモーション指導の実施
- 健康診断健康指導
- 栄養・給食指導
- 健康教育の充実
- 健康・教育相談
- [学]生活態度・学習
- [道]内容1(1)

中学校教育課程の構造図



特色Ⅱ ◎多彩な人材による多様な活動

- ・防災…(1)救命講習(荻窪消防署)
(2)防犯教室(荻窪警察署)
(3)防災訓練(区役所防災課等)
- ・健康…歯科講話・実習(校医)
- ・部活…外部指導員(野球等)
- ・環境…環境ワークショップ(杉並区環境をよくする会)
- ・国際理解…講話(青年海外協力隊・JICA)
- ・その他…炭焼き体験・税金教室(荻窪税務署)・いじめ講話(弁護士)・理科教室(科学館)・職業体験

◇自己理解力
◇自己受容の力
◇公的自己理解力
◇目標設定能力
◇結果に対する責任感
◇判断・決断力
◇行動力

□教育相談週間
□ロールプレイ
□生徒指導の充実
□体験活動の充実
[学]個性の理解と尊重
[道]内容1(2)(3)(4)(5)

◇他者理解
◇他者受容
◇共感能力
◇自己表現力
◇人間関係調整力
◇規範意識
◇自己調整力

□ガイダンス機能の充実
□異年齢集団の活動…運動会部活動等
□ボランティア活動
[学]望ましい人間関係
[道]内容2(1)~(5)・4(2)

◇集団意識…所属感・安心感・一体感など
◇集団目標…設定・達成意欲
◇集団活動…役割体験・成就感
◇集団秩序の維持
◇異集団の理解

□旅行的行事
□生徒会活動
□儀式的行事
■地域活動への参加
■ALT活動
■国際理解教育
[学]社会の一員の自覚
[道]内容4(1)等

特色Ⅳ ◎力強い支援組織

(1)「力強い」応援団

- ・PTA・同窓会・あけぼの会・天中会
- ・卒業生父母の会・学校評議委員会

(2)地域の組織

- ・天沼中学校区地域教育連絡協議会(ALT活動の支援等)
- ・天沼青少年育成委員会(野球大会・ボランティア活動等)
- ・スポーツ組織(野球クラブ等)
- ・地域防災会(防災訓練)等

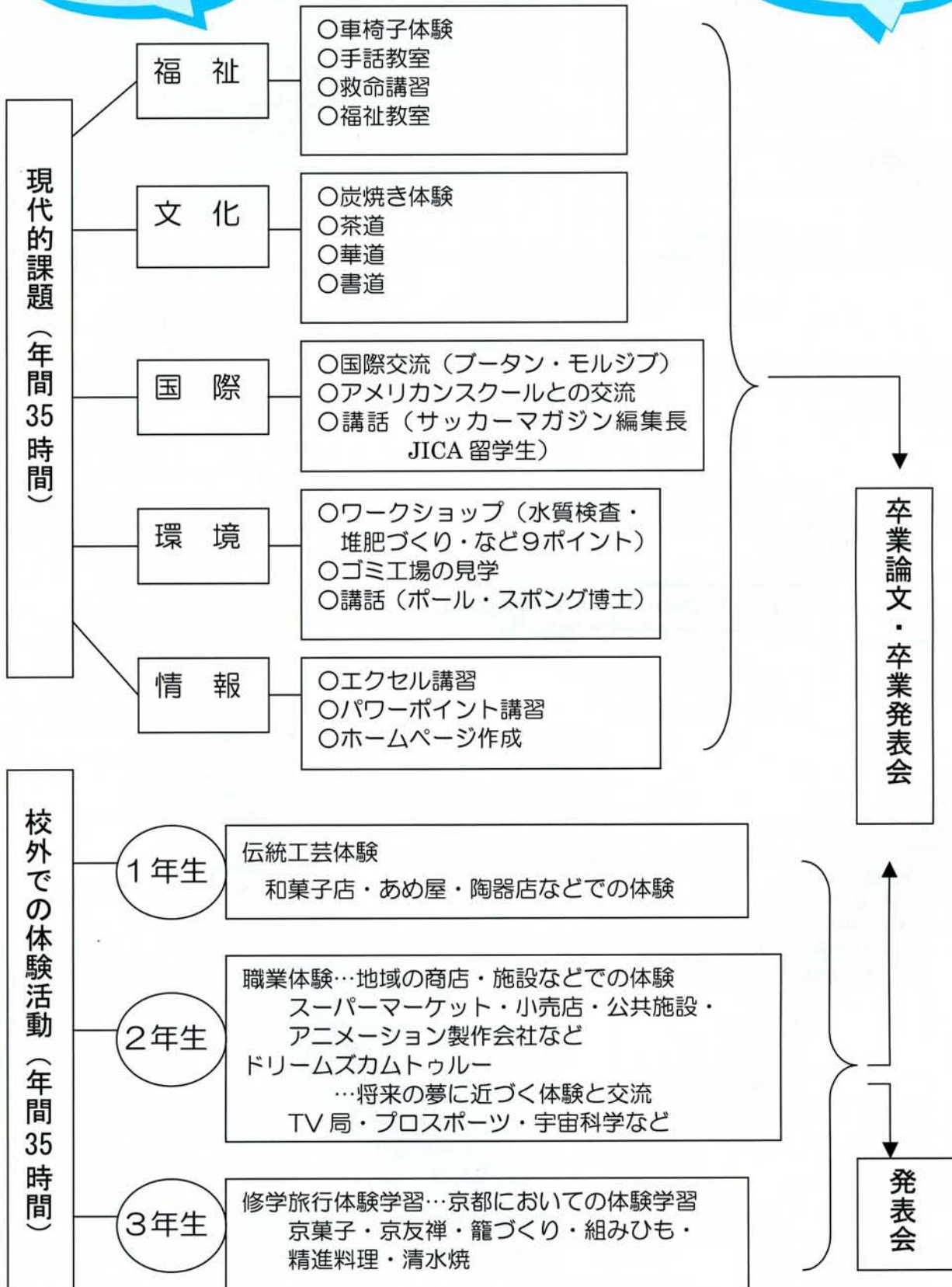
(3)その他

- ・商店会等(荻窪音楽祭・職業体験)
- ・コーディネーター(講師紹介等)

天沼中学校の総合的な学習の時間

多様な体験

自らの課題



文化



地域の方々の力添えで校内に設置した“茶室”を使っての茶道の授業
指導は地域の茶道教授をゲストティーチャーとしてお願いしている
この他、“茶道”“書道”などの伝統文化の授業もある

環境



オルカ研究で知られる、ポール・スポング博士の自然保護に関する授業

国際



サッカーワールドカップに絡め、サッカーマガジン編集長による国際理解授業を実施

国際



モルジブ・ブータンの方たちとの交流
茶道や華道を通して親交を深めた

校外での活動 職場体験



2年生の職場体験の様子。地域の商店や企業、公共施設などさまざまな場所でおこなっている

各学年とも学年に応じた「校外での体験活動」を実施している

本物の体験をすることは生徒たちにとっては貴重な経験だ。ゲストティーチャーの話に興味を持ち、将来への志を抱いた生徒や、職場体験を通して職業への希望を見出した生徒もいる。天沼中学校には杉並区から指定された「学校教育コーディネーター」が配置されており、ゲストティーチャーの紹介、地域・企業などの体験の場のコーディネートをおこなっている。このコーディネーターの存在により、多様な体験活動が可能になっているともいえる。